

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 4

5月31日

平成26年6月23日発行

発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

創刊号

「すぎなみ大人塾&すぎなみ地域大学共同講演会」

～心をひらくコミュニケーション～

阿刀田高さん講演会『ユーモア革命』



参加者の反応は？



- 生活する中で、生かしていきけるユーモア、少しのゆとり、楽しみを実行していけたらと思います。
- ユーモアのある友人に多々救われています。現実を超越していく手立てを教わりました。
- 「ユーモア」と「笑い」の違いについて理解が深まった。心に余裕をもってコミュニケーションをとれば、楽しい時間が持てると思った。
- 別のものの見方を出来る心のゆとり、許容量、配慮など、ユーモア心を持って日々過ごせると、豊かな人生になる。ユーモア心の大切さを考えさせられた。
- ユーモアを解説してくださり、本当によく分かった。セレンディピティのお話は素晴らしい。
- ユーモアたっぷりに、ユーモアを理論的に考察していただいた。セレンディピティの考え方には、目からウロコが落ちた。（参加者アンケートより抜粋）

革命ですよ、革命。古くはフランス革命、ロシア革命、近年では脳内革命なんてのもありましたが、本日の講演のお題は『ユーモア革命』です。それにしてもユーモアで革命とは？ルイ16世やニコライ2世も草葉の陰でビックリですね。

講演で阿刀田氏は、「死刑執行の朝、晴れた空を見上げて『今日は幸先がいい』と呟く死刑囚」の話をされました。数時間後の確実な死を前に、それを微塵も感じさせない余裕の態度。スゴいですよね。小心な私は感心と同時に、「幸先って何よ！」とツッコんでしまいま



すが、阿刀田氏曰く、物事を違う角度から見て、絶望的な現実を乗り越える力こそがユーモアなのだそうです。つまりかの死刑囚は、ユーモアによって苦しい状況の中で新しい地平を切り開いていたと。う～ん、確かにこれはある意味革命だわ。「マネできんな～」と思う私は、ユーモア自己批判します(笑)。

さらに阿刀田氏は、「何かを探している時に、それとは別の価値を発見する能力」＝「セレンディピティ」についてお話されました。「幸福な偶然」とも言うべきセレンディピティは、心に余裕があり、いい意味でのよそ見が出来ることが多く、ユーモア精神とも高い親和性があるのだとか。要するに「ユーモアあるところにセレンディピティ来たる」ということなんです。これって日本の諺「笑う門には福来たる」と実は同じ？だとすると洋の東西を超えた世の真理ってこと？うーんスゴイぞユーモア革命！革命万歳！（←かなりムリヤリ）。ただし、セレンディピティ獲得のためには、まず自分で努力することが大前提だそうですよ。タナボタ式はダメです。念のため、自戒もこめて。

大人塾生たる我々も阿刀田さんのお話を胸に、苦しい時にもニヤリと笑ってジョークを飛ばせる、そんなユーモアある大人でありたいものです。（文・外道ライター鈴木）

大人塾を支える「おとな」たち

みなさんの学び・気づき・活動に適切なアドバイスと講座の進行・運営を行う学習支援者をご紹介します

⊕ 広石 拓司 ♂

大阪府出身。三菱UFJリサーチ&コンサルティング、社会起業家育成支援のNPO法人ETICを経て、(株)エンパブリックを設立。幅広い人が社会活動を充実させるための資源発掘、人材育成、仕組みづくり、運営支援などのトータルサポートを行う。慶応義塾大学総合政策学部非常勤講師。

⊕ 松田 道雄 ♂

山形県出身。元中学校教員、高千穂大学教授を経て、現東北芸術工科大学総合美術コース教授。全国に広がる「だがしや楽校」の発案者。主著『だがしや楽校のススメ』、『輪読版駄菓子屋楽校』、『関係性はもう一つの世界をつくり出す』など。

⊕ 谷原 博子 ♀

福岡県出身。FM福岡のアナウンサー、長崎国際テレビのキャスターに加え番組制作のディレクターとしても活躍。現在は杉並区の学校地域コーディネーターをつとめ、また自然災害・危機管理等のドキュメント取材を中心にフリーアナウンサーとしても活動中。

⊕ 齊藤 志野歩 ♀

立川市出身。不動産投資運用会社在籍中の産育休を機に、NPOコレクティブハウジング社に関わり、復職後も2足わらじ。2012年(株)N9.5設立して独立。まち暮らし不動産/阿佐谷もちより食堂/西国図書館などの場を運営し、「めんどくさい世の中」を目指す。